



はんのう 民児協だより

発行/飯能市民生委員児童委員協議会
編集/広報委員会
事務局/飯能市福祉子ども部 地域・生活福祉課内
TEL(042)986-5081（直通）

「支えあう 住みよい社会 地域から」を
スローガンに民生委員・児童委員は活動しています。



キャンペーン広告(協力：ACジャパン)

「クラスに学級委員がいるように、あなたの町には民生委員・児童委員がいます。困りごと、心配ごとなど、誰に頼ればいいかわからないとき、どうぞお気軽にご相談を。」というCMをご覧になったことがありますか？

悩みごとは人それぞれ、必要とされる支援機関へおつなぎします。民生委員・児童委員は、法に基づいた守秘義務を有しており、相談内容の秘密は守られます。

ご自分の地区の民生委員が誰なのか
分からない場合は、事務局（042-986-5081）
まで、お問い合わせ下さい。



孤立しない地域を目指して

様々な問題は孤立してしまうことから生じてしまうとも言えます。政府は孤独・孤立は社会全体で対応しなければならない問題としました。そして、2021年12月28日に「孤独・孤立対策の重点計画」を策定しました。その基本方針の一つには、『見守り・交流の場や居場所づくりを確保し、人と人との「つながり」を実感できる地域づくり』があります。このことは、これまでも民生委員・児童委員が取り組んできたことでもあります。

他方、相談する立場にたって考える時、子供の頃から「人に迷惑をかけてはいけない」と言われて育ち、近年ではやたらと「自己責任」と言われ続け、問題を抱え支援が必要であっても「助けて」と言いづらいと感じている人が多いのではないのでしょうか？ また、日々の生活に追われ何かしらの行動をとることそのものが難しい現状かもしれません。もし、そうだとしたら以下のホームページにアクセスしてみてください。孤独・孤立で悩みを抱えている方が各種支援制度や相談先を探しやすくなるよう、自動応答により案内するシステムを搭載しています。

孤独・孤立対策ホームページ

<https://notalone-cas.go.jp/>



誰もが声を上げやすく、また、周囲の方々も声をかけ、受け止めることのできる社会とするためには「孤独・孤立は誰にでも起こりうることであり、それについて話してもいい」という認識を広げることが重要です。

* 「孤独」と表記する場合は「望まない孤独」のこと。
なお、「望まない孤独」であるか否かの判断には慎重さが求められることに留意が必要である。

あなたはひとりじゃない
～声をあげよう、声をかけよう～

新型コロナウイルス感染拡大・女性への深刻な影響

内閣府 男女共同参画白書 令和3年版によると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、各国の弱いところを露わにした。我が国においては、男女共同参画の遅れが露呈することになった。経済的な影響を見ると、女性の就業が多いサービス業等の接触型産業が強く影響を受けたことから、製造業が強い影響を受け「男性不況」ともいわれた2008年のリーマンショックと対比して、「女性不況（シーセッション（She-Cession）」と呼ばれることもある。

2020年4月7日に1回目の緊急事態宣言が発出されたが、ステイホーム、在宅ワーク、学校休校等の影響は、サービス業、とりわけ飲食・宿泊業等を直撃し、非正規雇用労働者を中心に雇用情勢が急速に悪化した。同時にこれまで見過ごされてきたことや、潜在的にあったものの表面化してこなかった諸問題、例えば、経済的・精神的DV(配偶者暴力)、ひとり親世帯、女性・女児の窮状、女性の貧困等がコロナで可視化され、改めて男女共同参画の進展状況について疑問の声が上がるようになった。

コロナ禍で女性の自殺が増加

厚生労働省が3月15日に公表したところによると、2021年の自殺者数は女性は2年連続で増加した。（前年より74人少ない2万1007人で2年振りに減少。男性が1万393人となり、12年連続で減った一方、女性は7068人で2年連続の増加。）



日本のジェンダー・ギャップ指数（男女格差）は先進国・東アジア・環太平洋地域で最低レベル



4つの分野（経済、政治、教育、健康）のデータからなる各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数、日本は総合順位が156カ国中120位。前回と比べて、スコア、順位ともに、ほぼ横ばいとなっており先進国の中でも最低レベル、アジア諸国の中でも韓国、中国、ASEAN諸国より低い結果となった。

「経済活動の参加と機会」では男女の賃金格差、「政治への関与」では女性議員の少なさが課題とされている。

グローバルジェンダーギャップレポートより

令和4年度「男女共同参画週間」
6月23日（木）～6月29日（水）



固定的性別役割分担意識や偏見の解消

県の男女共同参画に関する意識・実態調査（令和2年度）では、男女の地位の平等感について、「社会通念や風潮」や「社会全体」などで男女ともに不平等感が強くなっています。この背景には長年にわたり人々の中に形成された固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見、アンコンシャスバイアス（性差に関する無意識の思い込みや偏見）があることが挙げられ、その解消を図っていくことが求められています。

埼玉県男女共同参画基本計画 令和4年～8年（基本目標 IV-1より）



「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ

当事者とは誰なのか・・・

民児協だよりの83号、84号の編集後記に「他人ごとを自分ごと」「自分ごととして捉える」という言葉が続きました。それに続けて、今号では「当事者」という視点から考えてみたいと思います。

少し前の号になりますが、民生委員・児童委員の「ひろば」2021年9月号に掲載されたお二人の言葉が心に残りました。

『深く悩む人にとって、本当に必要なのは何かを言ってくれる人ではなくて、自分を気にかけてくれる人、うなずいて聞いてくれる人のような気がします。うなずいて聞いてくれるからゆっくり自分の気持ちを見直すことができます』

東京自殺防止センター理事・電話相談員 村明子

『私たちの社会は、コロナ禍で多くのものを失いました。いずれコロナ禍を振り返ったとき、「あのときの経験があったからこそ今がある」と思えるように、この経験をそれぞれの地域創りに活かすべく、そうやって誰も自殺に追い込まれることのない、互いに支えあえるお互い様の社会を創る道を拓いていくべく、ぜひ民生委員のみなさんの活動を期待しています。私も自分の持ち場で頑張ります』

NPO法人・自殺対策支援センター ライフリンク代表 清水康之

だれでも「当事者」になる可能性があります。病気や介護のため以前のような生活ができない。生活が困窮して経済的に立ち行かない。子供を取り巻く環境が自分の頃とは違い、どう対処して良いのか分からない等。また、感染症は、まさに、誰でも罹患する可能性のあるものです。感染拡大の初期の段階では「感染した人の行動が悪かったんだ」と責める風潮が強く「自粛警察」という言葉も生まれました。感染して大変な状況にある人に、さらに追い打ちをかけるようなことも起きました。

問題をかかえた時、民生委員・児童委員に声をかけていただきたいのはもちろんですが、普段から、お互い様の精神で、同じ地域に住む者どうしが、さりげなく近況や気持ちを伝え合えるような社会であることを望みます。昨今は「いまだけ・ここだけ・自分だけ」この3つさえ良ければ構わないという風潮があるとも聞きます。その逆となるような社会を目指せるのは、当事者である市民ひとりひとりではないでしょうか？



当事者の声を聴こう！！おすすめ図書 / 市の図書館で借りることができます！



この本の完成を喜んでくれたのは誰よりも認知症のある方で本人でした。自分の口ではうまく説明できなかったけど、この本のおかげで「ああ、こんなことが起きてるんだ。」ってわかってくれる人がたくさんいて、嬉しかった。

認知症世界の歩き方

寛 祐介著 株式会社ライツ社

認知症のあるご本人（約100名）にインタビューを重ねてできた本。

以下のHPから一部内容を見ることもできます。

本の監修をつとめた「認知症未来共創ハブ」

<http://designing-for-demedtia.jp/>



アドボカシー

福祉の現場では、自分の意思をうまく伝えることのできない患者や高齢者、障害者に代わって、代理人や支援者が意思や権利を伝えるといった意味で使われる。

子どもの心の声を聴く 子どもアドボカシー入門 堀 正嗣著 岩波ブックレット

いじめや虐待など子どもを巡る社会状況が厳しさを増すなか、世界的に注目されているのが子どもアドボカシー。子どもの声を聴き、その声を社会に伝えるというものである。長年、研究と実践に携わってきた著者が、具体的にその方法を語る。



地区紹介コーナー

飯能第一地区民児協



吉村 和夫 副会長

浅野 益恵	市川 淳	市川 宏明	岡本 知恵子
小高 正紀	川上 眞佐子	熊谷 悦男	佐野 康枝
鈴木 房江	高橋 美沙子	高橋 文代	田中 健策
田中 壽見子	平松 宏之	細田 ヨリ子	横田 きよ子
渡邊 和彦	渡邊 けい子		(50音順)

私たち、飯能第一地区民児協は、飯能駅北側の市街地旧町内で言うところの1丁目、原町、前田と柳原の一部を含め約3,800世帯を2名の主任児童委員を含む19名で担当しております。

活動としては地域の見廻り高齢者等の見守り、自治会の活動への参加、協力、学校関連では登下校の見守り等に参加しております。

しかし、ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響で各活動も制限され、特に新人の委員に於いては地域の皆さんに顔を覚えて頂く機会が少なくなってしまう苦慮しています。

私たちの担当区域はマンション等の集合住宅が多く見守り訪問活動の難しさの課題もあります。

定例会では各自が抱える問題を提起し皆で意見を出し合い対処するように心掛けています。

コロナ禍の中、なかなか思うような活動ができませんが少しでも地域の方々の力になれる様活動していきたいと思っております。

東吾野地区民児協



橋下 誠一 会長

浅見 春江	井上 珠代	大野 ふさ子	小作 重夫
栗原 則夫	長岡 ひとみ		(50音順)

東吾野地区は、よく言われる山間地域です。世帯数は約800、人口約1,700人、高齢化率47%で、結構2人世帯が多くなっている地域です。

大字で5地区に分かれ6人の民生委員（1名欠員）と2名の主任児童委員の8名で活動しています。市街地と比べ世帯数は少ないですが活動範囲が広く訪問活動が大変です。な

かでも民生委員2名で担当している長沢地区はハイキングで知られる顔振峠、高山不動尊、黒山三滝、関八州見晴台などのコースにもなっています。民家が広域に点在し高低差も約300m近くあり活動は車に頼らざるを得ません。そのような中で高齢化率も50%を超え、買い物や通院等々ご苦労されている方にとって「ふくしの森東吾野」の方々による月2回の移動販売は買物だけでなく、ふれあいの場としても喜ばれています。

一方、白子、平戸、虎秀、井上地区は国道299号を囲む様にあり自転車等を利用しての活動が多くなります。特に休祭日は交通量が増えより慎重に、安全第一での活動を心掛けています。

地域の高齢化が進む中「声かけで 広がる笑顔 地域の輪」を合言葉に地元で溶け込む民生委員を目指しています。

編集後記

家族のなかでも・・・家事や育児、いわゆるケア労働は家庭内で女性が担うことが多い。このコロナ禍で母親が入院などで、物の置き場所が分からなかったり、食事の用意に戸惑った家庭が多いと聞く。家のことを一人だけが担っていると、その人が不在の時に廻らない。日頃から情報を共有し、家事も協力することが大切だと気付かされました。

浅見 春江

当事者となって気づくこと・・・昨年末に転倒から入院し、トイレにも行けないという状態になった。それまで、どちらかといえば支援する側にいた立場が逆転。健康のありがたさが身にしみた。当たり前と思っていたことが、そうではないこと。文字通り「有り難い」こと、また支えてもらう側の気持ちも考えさせられた経験となった。

渡邊 けい子

民児協だよりのバックナンバーは市のHPでご覧いただけます。

